

躍動

# 強力な突き押しで幕内目前

(共同通信社提供)

## 年男の小柳関 白星重ね飛躍の年に

大相撲・十両東6枚目の中柳関(23)=新潟市北区出身・時津風部屋=の活躍に郷土が沸いています。初土俵は昨年3月の大阪場所、三段目付出でデビュー優勝、続く幕下で連勝するなど所要4場所のスピード出世で11月福岡場所で新十両に昇進し、新潟市から12年ぶりで関取が誕生しました。角界入りちょうど1年の3月大阪場所が目前、年男の小柳関にとって今年は幕内に昇進する飛躍の年になります。

写真=新十両の昨年11月福岡場所、初日を白星スタートで関取デビュー(左)

### CONTENTS

#### <2・3面>

- ・新潟市から12年ぶりの関取
- ・小柳関 錐い立ち合いで勝負
- ・地元から広がる声援の輪
- ・ちびっ子力士応援メッセージ

#### <4・5面>

- ・プロ野球入り3選手に続け
- ・着実にスーパージュニア育成

#### <6・7面>

- ・駅南にオリンピック支援自販機
- ・新潟シティマラソン新コースに

#### <8・9面>

- ・期待のジュニア選手を訪ねて
- ・ジュニア強化の指導者
- ・第52回市民総合体育祭報告
- ・コンベンション補助金制度

#### <10~13面>

- ・ジュニア優秀競技者表彰
- ・トピックス

#### <14・15面>

- ・賛助会員・事務局から

- ・新潟市スポーツ功労者

#### <16面>

- ・第7回スポーツグランプリ

# 快進撃で新潟市から 12年ぶりの関取

## 初土俵から 6 場所連続の勝ち越し

日本出身力士 19 年ぶりの横綱誕生・稀勢の里関の話題で、大相撲が盛り上がっています。新潟市でも、豊乃國（中央区出身・時津風部屋）以来 12 年ぶりに誕生した関取・小柳関（北区出身・時津風部屋・本名小柳亮太）の快進撃に沸き、間もなく 3 月 12 日から始まる大阪場所の活躍次第で、幕内昇進が決まるのではないかと期待が高まっています。

### 優勝決定戦を 2 連勝

小柳関は、昨年 3 月大阪場所に三段目最下位格付出で角界デビュー、7 戰全勝同士の優勝決定戦を切り返して勝って初優勝を飾りました。続く 5 月場所で幕下 58 枚目に昇進し、ここでも 7 戰全勝同士の決定戦を制して 2 場所連続優勝。迫力満点の馬力で目の前の一一番に集中し、自分らしい相撲を取り続けて初土俵以来土つかずの決定戦を含め 16 連勝という快挙です。

7 月名古屋場所では西 7 枚目に番付を上げ、7 日目の 4 番相撲で敗れプロ初黒星を喫しました。連勝が 19 で止まるも 6 勝 1 敗の好成績で、9 月場所には東幕下筆頭に。3 連敗から 4 連勝と立て直して勝ち越し、所要 4 場所のスピード出世で 11 月の九州場所で十両



12 枚目に昇進し、三段目最下位格付出制度の初適用力士として初の関取となりました。

関取初陣は白星スタートし、初めての 15 番勝負は優勝争いに絡む大活躍で、惜しくも千秋楽に敗れたものの 11 勝 4 敗の好成績を収めました。今年初場所は十両東 6 枚目で黒星発進したものの 8 勝 7 敗として、三段目デビュー以来 6 場所連続の勝ち越しで、来場所はさらに番付が上がります。

### 地域の宝だ 新潟の星だ

#### 地元北区から声援の輪広がる

小柳関の出身地、新潟市北区では、昨年 3 月大阪の初土俵から 2 場所連続全勝優勝する快進撃が始まると、郷土の星を地域を挙げて応援するムードが一挙に高まりました。

豊栄商店会連合会と商工会青年部などが開催しているパブリックビューイングでは、特製の応援うちわが振られ、場所ごとに盛り上がっています。商店街にはプロフィール入り星取表のポスターが張り出され、場所中は毎日、市職員や商店主や子どもたちが勝敗を記録。母校の葛塚小、光晴中でもポスターを張り出し、校内放送で取組結果が伝えられました。

十両昇進を決めた 9 月場所で

は、3 連敗の崖っぷちからの 4 連勝で熱が上がりいました。北区役所の玄関には、星取表のポスターを掲げた応援コーナーが設けられ、後半に白星が並ぶポスターに、来場者もうれしそうに「頑張って」の声をかけ、展示された手形とサインなどに見入っていました。豊栄図書館でも特製の星取表が掲げられました。新十両で迎えた 11 月福岡場所でも優勝戦線に残る小柳に大声援。千秋楽に敗れ優勝を逃すと下町商店街のコミュニティースペースの「どまんな館」では、テレビ画面にくぎ付けになっている人たちからどっとため息が上がり「惜しい！ 11 勝 4 敗は立派よく頑張った」と声が上がっていまし

た。

今年初場所では、豊栄郵便局が星取表入りの応援年賀状を区内の 3,600 世帯に配り、地元企業も協賛しました。地元の旅行会社は日帰り応援ツアーを企画。「頑張れ！ 小柳」の応援小旗をつくりて両国国技館へ。2 日目の土俵で小柳関が熱い声援に応え初白星を挙げると、周りの観客席も巻き込んで大歓声と拍手が起こりました。

22 日の千秋楽、小柳関は取り直しの一番で惜しくも敗れましたが、パブリックビューイングでは父親の小柳敬さん（47）も一緒にになって声を張り上げ、既に勝ち越しを決めている活躍を拍手でねぎらいました。

幕内を目前にして、ますます応援に力が入る地元では、一丸となった支援の輪が大きく広がっています。

## 負けず嫌いで大きな子ども

負けず嫌いで大きな子どもだった小柳関は、葛塚小1年から豊栄の相撲教室で相撲を始め、5年でわんぱく相撲全国大会3位に。光晴中時代は相撲部がなく野球部入り、相撲は続けていました。石川県の強豪・金沢学院東高（現金沢学院高）に進学し3年で全国高校総体（インターハイ）ベスト8。東京農大に進み4年で主将を務め、世界選手権重量級を制すなど個人5冠を獲得しました。

将来を有望視され時津風部屋入りが決まった折には「少しづつ番付を上げ、先ずは十両関取、いずれは豊山関（元時津風親方・新発田市出身）のように大関まで行きたい」と大先輩の名前を挙げていました。角界は勝って当たり前の、すごい世界、プロの厳しさをあらためて感じています。

## 立ち合いが勝負のカギ

いよいよ3月12日から大阪場所が控えています。ここで二けた以上の勝ち星で、かつ優勝争いに加われば文句なしの幕内昇進が確実です。

大事な場所を前に小柳関は、手応えを感じています。これまで6場所の経験を積んで、鋭い踏み込み、土俵際の最後の詰め、勝負勘などの課題が見えてきました。必死に食らいついで一番一番に集中、破壊力ある突き押しで相手の上体を起こし懐に入れさせない。立ち合いが勝負の半分以上の決め手になることをあらためて学びました。変化する相手にどう対応するか、瞬時の

対応力をもう少し体に染み込ませる。そして何よりも、けがをしないよう稽古また稽古で鍛えています。

## 新横綱・稀勢の里と同じ体格

食べるのも稽古のうちというけれど、一食5合のご飯に、好きなものは肉、野菜も意識して取り体調を気遣っているといいます。角



界に入って1年で5キロほど体重が増え176キロに、身長は185センチで、憧れの新横綱・稀勢の里関とほぼ同じ体格となりました。広い肩幅にがっしりと筋肉がつき、顔つきも厳しく関取らしい貫禄となっていました。

## 新潟のファンの皆さんに

たくさんの声援で大きな力が湧いてくる、新潟からの応援に感謝している小柳関。一生懸命頑張って期待に応えたいと意気込んでいます。ざんばら髪はスピード出世の証拠で、幕内が先か、まげが先か。幕内に昇進すれば、大学の大先輩でもある元大関、日本相撲協会元理事長で先々代時津風親方だった「豊山」の名跡を継ぐ期待が膨らみ現実となりそうです。

## <応援メッセージ>

(市相撲連盟主催の相撲教室で頑張る子どもたちから)

## 横綱を目指して頑張って！強くなって小柳関を超えます

**曾我 幹君（中3）** 僕は同じ豊栄出身って事もあり憧れでもあり大ファンです。いつかは小柳関のようになれるように、けい古を励みたいと思います。これから活躍を期待しています。

**篠 宗磨君（小4）** 小柳関、十両昇進おめでとうございます。今、小柳関のような強い力士になるためにがんばっています。横綱を目指してがんばってください。

**五十嵐 蓮君（中1）** 小柳関、大相撲頑張ってください、応援しています。僕も小柳関みたいに強くなれるよう一生懸命、新潟相撲教室で練習しています。

**篠 侑磨君（小6）** 新十両で大活躍おめでとうございました。ぼくは、必ず小柳関をこえます。そのためにはぼくもがんばりますので、小柳関もがんばってください。これからもずっと応援しています。

**井浦得宝君（小4）** 小柳関、応援しています。私が知っている中で、ゆいいつ新潟出身の力士です。去年最後の九州場所はすごかったです。今年もこのちょうどしへがんばってください。

**五ノ井浩介君（小5）** がんばって横綱になってください。2けた勝利おめでとうございました。これからもがんばってください。

**小島伶央君（小4）** 小柳関十両おめでとうございました。これからもがんばってください。

**篠 拓磨君（中2）** 先場所の活躍を見ました。これからも幕内、その上をめざして期待しています。

**加藤大介君（小5）** がんばってください。おうえんしています。ぼくもがんばります。

**井浦乃旗君（小1）** あいてがだれであろうと、やるきをだして、それでおもいきってやる。

# 新潟市関係の3選手がプロ野球界入り

## ジュニア選手に向けてメッセージ

少年時代からの夢をかなえた3選手。念願かなったプロ野球の世界で、新たな挑戦に希望を膨らませています。

池田駿選手は、読売ジャイアンツからドラフト4位で指名されました。社会人で最高殊勲選手に選ばれたエースが球界の名門に入りました。笠原祥太郎選手は、中日ドラゴンズからドラフト4位で指名。県内大学出身で初のプロ球界入りです。高井俊選手は、読売ジャイアンツからドラフト育成枠1位で指名されました。新潟アルビレックスBCから、夢舞台を掴みました。

持ち前の粘り強さを發揮して、活躍する姿を一日も早く県民に見せたい。できるだけ早く1軍のマウンドに立ちたいと、お互いにライバル同士が闘志を燃やしています。

新潟市で野球に取り組むジュニア選手に向けて、力強いメッセージを寄せてもらいました。

### 笠原祥太郎 選手 (中日ドラゴンズ)

#### 才能は必ず開花します 夢を諦めずに頑張って



中日ドラゴンズから4位指名していただいた新潟医療福祉大学の笠原祥太郎です。

私は、高校時代まで全くの無名選手で、プロ野球選手になれるとは思ってもいませんでした。しかし、大学でも野球を続けようと決め、一生懸命練習をして努力した結果、才能が開花しプロ野球選手になることができました。

このように、才能はいつ開花するかわからないので、夢を

### 池田 駿 選手 (読売ジャイアンツ)

#### ひたむきに楽しく練習を 真面目に勉強も忘れずに



今シーズンから読売ジャイアンツに入団することになった池田駿です。

私は小さいころからプロ野球選手を目指してきましたが、ついに夢を実現することができました。

小・中学校のころは、まだ大した実力もありませんでしたが、野球が好きだったので、とにかく、ひたむきに練習してきました。

少年野球チームや中学校で野球をしている皆さん。これ

### 高井 俊 選手 (読売ジャイアンツ)

#### 皆さんには無限の可能性 つらいことを乗り越えて



読売ジャイアンツから育成1位指名を受けました、新潟アルビレックスBCの高井俊です。

野球少年・野球少女の皆さん、皆さんは無限の可能性を秘めています。頑張れば頑張るだけ上手になり、上の世界に行くことができます！

好きな野球を思いっきり楽しんで、常に大きな夢を持ち、1割の喜びのために9割のつらいことを頑張って乗り越えてください！皆さんがプロ野球選手になるのを楽しみにしてい

諦めそうになんて、そこで諦めず、もうひと踏ん張りして頑張ってください。

くわざはら・しおたろう> 秋葉区（旧新津市）出身。1995年生まれ。結小→新津第二中→新津高校→新潟医療福祉大。闘甲信学生野球連盟の1部で活躍、リーグ最多奪三振記録の73奪三振をマーク。春季リーグ（2016年）ベストナイン、最多勝、最優秀防御率の投手部門表彰を独占。左投げ左打ち。



新潟医療福祉大学提供

からどんどん上手になって、ますます楽しくなっていくと思うので、もっともっと真剣に野球の練習に取り組んでください。

それから野球選手には考える力が必要です。野球だけでなく勉強にも真面目に取り組んで、自分の夢を追いかけてほしいと思います。

くわいたけだ・しゅん> 出雲崎町出身。1992年生まれ。出雲崎小→出雲崎中→新潟明訓高→専修大。2015年にヤマハに入団、16年の日本選手権で優勝、最高殊勲選手に。新潟明訓高校時代の2010年、夏の甲子園にエースとして8強入り。左投げ左打ち。

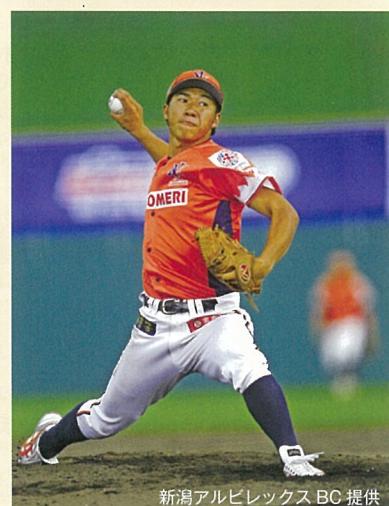


ヤマハ提供

ます。

私も一日でも早く、東京ドームのマウンドで投げられるように頑張ります！

くわいたかい・すぐる> 見附市出身。1995年生まれ。今町小→今町中→東北高校→悠久山栄養調理専門学校。2015年、新潟アルビレックスベースボールクラブ入り。右投げ右打ち。最速152kmの速球が武器。



新潟アルビレックスBC提供

# 着実に成果「にいがたスーパージュニア育成事業」

## NSCの直接指導で心技体ともに強く

次代を担う選手育成を目指し、ジュニア強化に取り組んでいる市体協では今年度から、東京オリンピックとその後も視野に、国際大会などで日の丸をつけて活躍する選手の輩出を目指す新たな強化策として「にいがたスーパー・ジュニア育成事業」をスタートしましたが、早速その成果が表れています。

オリンピックや世界大会など世界トップレベルで活躍している選手・コーチなどを「にいがたスペシャルコーチ（NSC）」として招き直接指導を受け、選抜選手がより強く逞しく成長しています。毎月1回ペースのNSCによる指導を原則に、高校まで継続的に強化を行い、対象選手については1年ごとに見直しを行います。

また、傷害予防や選手のコンディショニングを行う「医科学サポート事業」とも連携した強化策を実施しています。

今回は二つの強化種目の事業展開と成果を報告してもらいました。

## 柔道

### 世界を舞台に闘う技を学ぶ 講師に福見、田知本、西田氏ら

年間10回の強化事業を計画し、8回まで実施しました。

ジュニア強化柔道教室などで何度も新潟を訪れている2009年世界選手権金メダリスト、ロンドン五輪代表の福見友子氏（JR東日本）を迎えて、世界を舞台に闘う技などを直接指導していただいています。またNSCサポートとして新潟県警やALSOKにも協力してもらいたい事業を展開しています。

将来を見据えた今学ぶべき技術、世界の選手の特色、考え方行動する柔道の大切さを直接指導していただき、それに加え自分が今置かれている環境への感謝やトップアスリートとしての心構えも学んでいます。

医科学サポート事業では、新潟柔整専門学校の高橋亜姫先生から、体幹を鍛えるトレーニングや、けがを回避する体づくり、マッサージ・ストレッチなど体のケアの方法の

講習を受け  
ることができました。

今年度の成績は、指定強化選手の松澤佑栄（白根第一中）が北信越大会の女子70kg超級で優勝、また全中大会の団体女子で白根第一中がベスト8、個人では女子48kg級で古谷真弥選手（新潟第一中）がベスト8に、男子55kg級で榎本春輝選手（新潟第一中）、男子73kg級で騰川雄一朗選手（白根第一中）、女子70kg超級で松澤佑栄選手（白根第一中）の3人がベスト16となり、徐々に成果が表れています。



第10回の教室には特別講師としてリオ五輪金メダリスト田知本遥氏（ALSOK）と、世界大会を数多く制している西田優香氏（了徳寺学園）を迎えて開催の予定です。

## ボクシング

### 効果的に戦術トレーニング NSCに村田諒太氏を招く

ロンドン五輪金メダリスト村田諒太氏（帝拳ボクシングジム）などの著名な講師をNSCとして招き、また指定強化選手の県外遠征を実施しました。

9月3日に開志学園高校体育館で行われた村田氏の講習会には指定強化選手を含む約100人が参加しました。間合いの取り方、体の使い方など直接指導いただき、選手にとって非常に有意義で貴重な体験となりました。

県外遠征は9月24日の宮城農業高校（宮城県）をはじめ、計3回実施してきました。効果的な戦術トレーニング、サーキットトレーニングなどの講義後には、強豪校の選手と実戦練習を行うことができ、より効果的な強化になりました。

また、スポーツ傷害予防やパフォーマンス向上の観点から医科学サポート事業も合わせて実施。自衛隊体育学校所属の寺中靖幸氏らのトレーナーを招き、ボクシング競技に必要なウエイトトレーニングや体幹トレーニング、メンタ

ルトレーニングなどの講習を行いました。

その結果、インターハイでは新潟市から7選手がベスト8入り。北信越国体では全階級制覇の快挙。



国体では少年男子ライトウェルター級で佐々木光太選手（新潟向陽高）が2位、少年男子ピン級で滝澤栄吉選手（開志学園高）が3位、少年男子ミドル級で近藤陸選手（開志学園高）が5位に入賞するなど、着実に成果が上がっています。

2月に自衛隊体育学校（東京都）と岐阜県の中京高校へ遠征を計画しており、3月の全国高校選抜大会においてさらなる好成績を目指しています。

# 「JOCオリンピック支援自販機」新潟駅南に

## 購入1本ごとに寄付、ジュニア選手育成

2020年の東京オリンピックを支援する「JOCオリンピック支援自販機」が政令市では初めて、新潟市の新潟駅南口の東側連絡通路下バスターミナル側に2台設置されました。

JOC（日本オリンピック委員会）とコカ・コーラが共同で進める「オリンピック選手強化支援プログラム」事業の一環として設置され、清涼飲料水を購入するごとに、1本につき数円程度が寄付されるシステムで、選手の強化などに役立てられます。自販機にはJOCのメッセージポスター やオリンピック競技をデザインしたオリジナルラッピングなどがデザインされています。

新潟市体協では、ジュニア層の強化事業（27実施団体）を展開しており、県内第1号の設置が次世代のオリンピック選手育成の心強いバックアップとなっています。

同システムをPRして多くの利用者の理解を広めるため、記念式典が新潟駅南口の設置場所で開催され、JOCの中森康弘氏、コカ・コーラの北川浩幸氏、篠田市長らが

出席、またスーパージュニア育成事業の指定強化（柔道）の騰川雄一朗（白根第一中）、松澤佑栞（同）、中村宇美（横越小）の3選手も参加して大役を務めました。



## 「健康・体力づくりのつどい」過去最多の参加



“いつでも、どこでも、いつまでも～生涯スポーツに親しもう”体育の日（10月10日）恒例の「健康・体力づくりのつどい」が市陸上競技場で開催されました。天候にも恵まれ過去最高の延べ2,250人が来場し、さまざまイベントを楽しみながら体を動かしました。

今回は新たに新潟弁ラジオ体操が開かれて大好評。4年ぶりに復活した鉄棒教室にも定員を上回る約200人が参加しました。逆

## 「鉄棒教室」盛り上がる 「新潟弁ラジオ体操」も大好評

上がりのできない小学生を対象とした教室は募集当初から大きな反響があり、熱心に取り組む子どもたちで非常に盛り上りました。例年実施している簡易体力測定や50mタイムトライアルにも多くの市民の皆さんが出挑战していました。

これらのイベントでは新潟大学体操部、新潟医療福祉大学の学生をはじめ多くのスポーツボランティアの皆さんにご協力いただき感謝しています。

なお、当イベントはスポーツ振興くじ助成金を受けて実施いたしました。

# 10,937人が懸命に完走 第34回「新潟シティマラソン」

## 中心街と海岸線を駆け抜ける 沿道の温かい声援に励まされ

国内外より高校生から85歳まで12,008人が参加して10月9日、小雨の中、第34回新潟シティマラソンが行われ、中心街の古町や萬代橋、信濃川や日本海沿いなど変化に富んだコースを駆け抜けました。

沿道には多くの市民や10の応援団体、約3,600人のボランティアなどが旗を振ったり太鼓やダンスで元気付けたりして、懸命に走るランナーに温かい声援を送りました。フル4,466人、ハーフ2,258人、10<sup>キロ</sup>4,213人合わせて10,937人が完走し、陸上競技場にゴールしました。なお、10<sup>キロ</sup>女子40歳部で大会新記録が出ました。

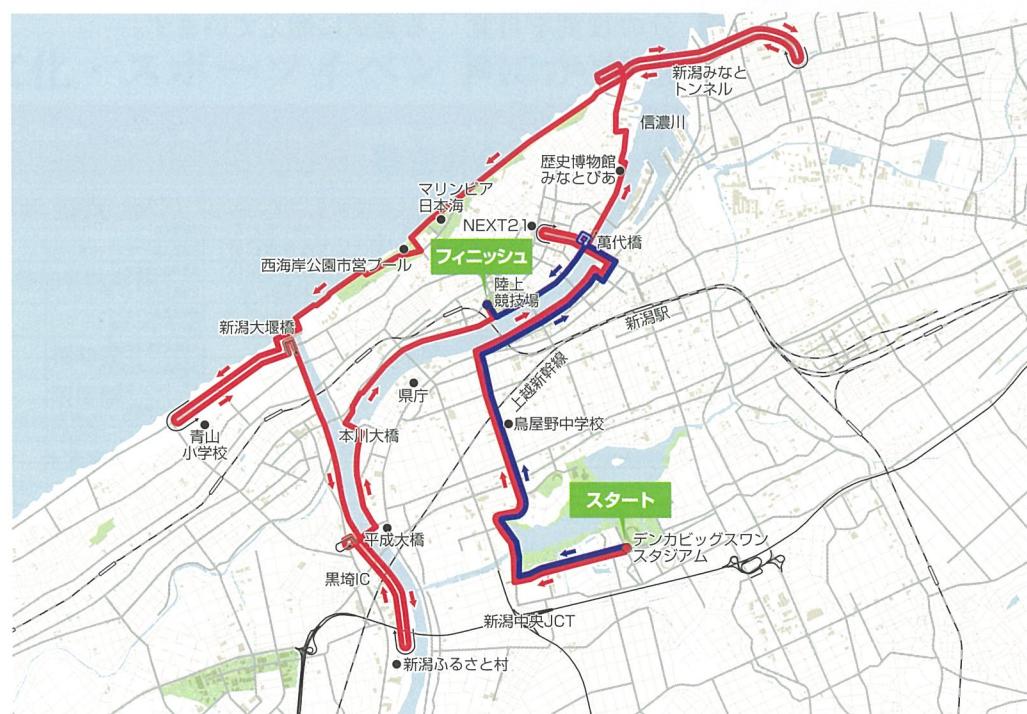
今年もゲストランナーには、シドニー五輪（2000年）金メダリストの高橋尚子さんが連続5回目、ロンドン五輪（2012年）代表の尾崎好美さんが昨年に続き2回目の参加で、笑顔のハイタッチなどで参加者を励まして大会を盛り上げました。



## 今年から新コースで (体育の日に開催)

### フルマラソンと10<sup>キロ</sup>の2コースに (ハーフは廃止)

全国のランナーにいっそう親しまれ、より魅力ある大会にするため、第35回大会から新コースで開催します。デンカビッグスワンスタジアムをスタートして、萬代橋や信濃川、日本海などの風景を楽しみながら、陸上競技場でフィニッシュするコースとなります。



種目はフルマラソンと10<sup>キロ</sup>の2コースにし、ハーフは廃止します。フルのコースには新たに新潟みなとトンネルを加え、海岸線の距離を約25<sup>キロ</sup>から約10<sup>キロ</sup>に短縮します。フルを大会のメインと位置づけ、高低差や段差の少ないコースにより安全で快適な運営を目指し、年配者や初心者にも楽しんでもらえるように配慮。また、フルの制限時間を5時間から7時間に延長することで、これまでのハーフ参加者にもフルに挑戦してもらいやすくするなど、より多くの参加ランナーの満足度と完走率の向上を目指します。

新コースでの開催日は体育の日（10月9日）となります。大会事務局ではセンター（協賛）企業を募集しています。

デンカビッグスワンスタジアムをスタート→陸上競技場にゴール

# 期待のジュニア

## バスケットボール 鳥屋野中学校

鳥屋野中バスケ部は20年前に全国大会で日本一となった伝統校。その時のキャプテンが、母校の先生となって8年前に着任し選手たちを鍛えている堀里也先生です。再び先生と共に全国制覇を目指して、チーム一丸となって練習に励んでいます。

平成26年の全国中学校体育大会では3位まで勝ち進みました。今シーズンこそはと全国大会（8月・福井）での優勝を目指しました。まずは北信越決勝で県下の最強ライバル石山中との対戦で選手たちの意気は上がりました。石山中を試合開始から終盤までリードしていくながら、最後に逆転を許して逃げ切られ49-59で敗れ2位となりましたが、共に全中に駒を進め、初出場の石山中はベスト16



に。2年ぶり出場の鳥屋野中はベスト8となって20年ぶり優勝の悲願は成りませんでした。

しかし、次の目標に向けて確かな手応えと課題をつかむことができました。粘り強いディフェンスからの

## 全中で再び日本一を目指す 全選手が役割を自覚しチャレンジ

速攻、突破力、確実なフリースロー、勝負強さなどなど。さらに最終日まで残れなかった無念の全国大会の体育馆で、日本一になるには何が必要なのか全員で考えたといいます。まずはチームワーク。劣勢になっても慌てず、全選手が自分の役割を自覚してプレーに徹しようなどと。

成長したチームの後輩に夢を託し、県選抜で活躍した吉川瑠、丸山宇宙、青山海斗の3選手ら3年生は満足のシーズンを終えることができました。ベンチ入りした5人の2年生を中心にチームの結束は固く、来年こそはと期待がかかっています。

堀先生の指導方針は、基本的な技術指導のほかは選手の自覚を促すこと。自分で考えて、個々の役割を心得てプレーできるようになって、チームの結束力が高まっています。お互いに気になっていることがあると、皆で発言し合って修正しています。近年の中学生バスケの傾向も、ハーフタレントも加わった大型選手をそろえている都市圏域の有名私立校や強豪校が多くなっていますが、全国の壁が厚く高いほど、チャレンジする意欲に燃えています。

## 平成28年度 第52回 市民総合体育祭

種目(春季)	期日	会場	参加人数
テニス	4/10-17(日) 5/4(祝) 5/22(日)	市庭球場 豊栄総合体育馆テニスコート 白根総合公園テニスコート	1,100
バスケットボール	4/17(日)~5/29(日)	横越総合体育馆ほか	1,597
アイスホッケー	4/16(土)~6/11(土)	新潟市ブレイブアイスアリーナ	59
少年サッカー	4/2(土)~17(日)	アルビレックス 鳥屋野球場	1120
バウンドテニス	4/17(日)	東総合スポーツセンター	59
インディアカ	4/24(日)	北地区スポーツセンター	115
卓球	4/29-30(祝・土)	東総合スポーツセンターほか	1684
ボクシング	5/15(日)	ボクシング練習場	122
少林寺拳法	5/3(祝)	新潟市体育馆	180
ゲートボール	5/13(金)	陸上競技場	150
ポウリング	5/15(日)	グラントボウル黒崎	18
トリットボール	5/15(日)	農村公園(江南区)	47
アーチェリー	5/15(日)	西総合スポーツセンター (屋内ゲートボール場)	28
ソフトボール	5/22-29(日)	阿賀野川第二野球場	231
ターゲット・ハードゴルフ	5/28-29(土・日)	新潟市城山運動公園 芝生広場	156
サイクリング	5/29(日)	江南区文化会館~村松公園 ~江南区文化会館	22
ソフトテニス	6/5(日)	市庭球場	246
バレーボール	6/12(日)	鳥屋野総合体育馆ほか	250
陸上	6/12(日)	陸上競技場	221
テコンドー	6/19(日)	鳥屋野総合体育馆大体育馆	31
バドミントン	6/19(日)	亀田総合体育馆	416
グラウンド・ゴルフ	7/3(日)	北区鳥見緑地公園	87
合計			7939

種目(秋季)	期日	会場	参加人数
水泳	8/28(日)	西海岸公園市営プール	558
ソフトボール	9/4-11(日) 10/16(日)	阿賀野川第二野球場	327
レクリエーション(ダンス)	9/7(水)	新潟市体育馆	281
バスケットボール	9/11(日) ~10/23(日)	横越総合体育馆 西川総合体育馆ほか	1578
太極拳	9/18(日)	西総合スポーツセンター	286
ソフトテニス	9/18(日)	市庭球場	130
オフショアセーリング	9/18-19(日・祝)	新潟港西~両津港	27
ラグビーフットボール	9/18(日) ほか	鳥屋野球場ほか	650
バレーボール	9/22(祝)	東総合スポーツセンター 西総合スポーツセンター 黒埼地区総合体育馆	250
ホッケー	9/22(祝)	城山運動公園ホッケー場	202
セーリング	9/25(日)	閨屋浜沖	31
テニス	10/1(土)	市庭球場 豊栄総合体育馆テニスコート 白根総合公園テニスコート	952
体操	10/1(土)	鳥屋野総合体育馆中体育馆	54
相撲	10/8(土)	鳥屋野総合体育馆相撲場	47
少林寺拳法	10/8(土)	鳥屋野総合体育馆	167
トリットボール	10/9(日)	阿賀野川ふれあい公園	29
合気道	10/9(日)	鳥屋野総合体育馆道場	119
弓道	10/10(祝)	鳥屋野総合体育馆弓道場	168
剣道	10/10(祝)	鳥屋野総合体育馆	787
バドミントン	10/10(祝)	東総合スポーツセンター	350
サイクリング	10/10(祝)	新潟市スポーツ公園~いわもろや~ 新潟市スポーツ公園	32
ゲートボール	10/13(木)	陸上競技場	139

種目(秋季)	期日	会場	参加人数
軟式野球	10/15・16(土・日)	小針野球場	80
卓球	10/15・30(土・日)	西船スポートセンターほか	1647
空手	10/16(日)	鳥屋野総合体育馆	334
バウンドテニス	10/16(日)	北地区スポーツセンター	52
アーチェリー	10/16(日)	西船スポートセンター (屋内ゲートボール場)	27
柔道	10/16(日)	亀田総合体育馆道場	101
テコンドー	10/23(日)	鳥屋野総合体育馆道場	27
ボウリング	10/23(日)	グラントボウル黒崎	17
ボクシング	10/23(日)	ボクシング練習場	176
ウェイトリフティング	10/23(日)	新潟工業高校トレーニングルーム	22
ターゲット・ハードゴルフ	10/30(日)	亀貝運動公園	48
馬術	11/13(日)	新潟市馬術競技場	29
インディアカ	11/13(日)	西川総合体育馆	73
スキー	3/20(日)	大蔵スキー場(魚沼市)	76
合計			9873

スポーツくじ(toto・BIG)

スポーツは育てることができる。

スポーツくじ(toto・BIG)の収益は、日本のスポーツを育てるために使われています。

# ジュニア強化の指導者

昨年（平成28年3月・東京体育館）の中学生バスケットボール都道府県対抗ジュニア大会。県選抜男子チームは快進撃で強豪を次々と打ち破り、見事に県勢初の全国制覇を成し遂げました。ライバル校の石山中と鳥屋野中を中心とした選抜選手たちを強い絆で結び、一丸となったチームを監督として率い粘り強い試合運びで優勝に導きました。

決勝トーナメント準々決勝で滋賀県を第4クオーターで突き放して67-53で快勝。準決勝では愛知に第3クオーターから反撃に転じ、最終残り2分に大逆転で接戦を制して53-50で勝ち進みました。県選抜の決勝進出は平成16年以来12年ぶり2度目となりました。福岡県を相手にして第2クオーターまでリードを許すも、後半の猛攻で64-44という大差で見事な初優勝を成し遂げました。

この大会は堀監督にとって、20年前の鳥屋野中時代に全国優勝し、さらに県選抜の選手として活躍したことのある思い出の舞台でした。その時はベスト8で悔しい思いのままでしたが、自分にとっても20年ぶりの雪辱の舞台でした。

女池小時代から大学まで常にチームの中心、キャプテンとして活躍していました。鳥屋野中3年の時に第26回全国中学校体育大会で優勝。決勝は

## 県選抜チーム率い全国制覇 粘り強いチームプレー快進撃



### バスケットボール

#### 堀 里也さん (34)

鳥屋野中学校教員・バスケットボール部顧問

県選抜男子チーム監督

木崎中と史上初の新潟県勢同士の対戦でした。高校は秋田の強豪の能代工高へ。インターハイ・国体・ウインターカップの3冠達成に貢献しました。筑波大学ではインカレ6位の成績でした。

卒業後は教員として帰郷し村上市、新発田市の中学校で指導にあたり、8年前から母校の鳥屋野中に赴任しチームを率いています。20代のころには県教員チームの現役選手として活躍し地元・新潟国体で準優勝しています。

女池小6年生で期待のジュニア選手として「躍動」に紹介されました。「個人技もゲーム感覚にも優れた、視野の広いオールラ

ウンドプレイヤー。試合の流れ読み今何をすべきかということを良く知って動く」。当時の恩師の教えでめきめき上達していました。少年時代に学んだことを基本にさらにレベルアップして子どもたちを鍛え、日の丸を背に活躍する選手に育てたいと思っています。



## 文化・スポーツイベントにかかる補助金制度のご案内

### 新潟市 コンベンション開催補助金制度（競技会・コンクールのみ抜粋）

最大交付額

**350万円**

大会区分	国際大会	全国大会	ブロック大会
参加者数要件	(1)日本を含む2カ国以上から20人以上の参加がある国際規模の競技会・コンクール (2)総参加者が20人以上で、かつ国外の参加者が10人以上ある国内の競技会・コンクール ※(1)、(2)のいずれかを満たす競技会・コンクール	・県外参加者が <b>50人以上</b> であること	・県外参加者が <b>50人以上</b> であること
補助額	国外参加者数×5,000円+県外参加者数×1,000円	県外参加者数×1,000円	県外参加者数×500円
限度額 (開催総経費の1/3以内)	<b>350万円</b>	<b>200万円</b>	<b>100万円</b>
共通要件	・主な開催会場及び宿泊地が新潟市であること。 ・会期が連続2日間以上であること。		

#### 次のものは補助対象外です

- ▶国又は地方公共団体が主催する競技会・コンクール
- ▶この制度とは別に新潟市から補助金等の交付を受ける競技会・コンクール
- ▶政治的、宗教的又は直接営利的な目的を持つ競技会・コンクール
- ▶プロスポーツ、コンサート、演劇など不特定多数の参加者から入場料等を徴収する興行等に類するもの

#### 〔注意事項〕

- ・補助金を利用するには原則として開催前年度の10月までに申請手続きが必要です。なお、期限を過ぎた場合は早めにご相談下さい。
- ・競技会・コンクール終了後、参加人数等が規定に満たなかった場合は補助対象外となります。
- ・競技会・コンクール終了後、「県外参加者」「「国外参加者」の登録名簿の提出が必要となります。
- ・競技会・コンクール終了後、当補助金を算入することにより収入が支出を上回る場合は、収支が一致する額を交付の上限とします。

※上記補助金制度に加えて新潟県コンベンション開催費補助金制度を開催条件によって利用することも可能です。（県外参加者数500人以上 / 最大交付額700万円）

#### お問い合わせ

#### 公益財団法人 新潟観光コンベンション協会

〒951-8062 新潟市中央区西堀前通6番町894-1 西堀6番館ビル4F TEL.025-223-8181 FAX.025-223-9100 E-mail/ mail@nvcb.or.jp

# 第18回新潟市体育協会ジュニア優秀競技者表彰受賞者

第18回(平成28年)新潟市体育協会のジュニア優秀競技者表彰は、各加盟団体ならびに各区体育協会より推薦された候補者を理事会で協議した結果、次の14種目56名に決まりました。表彰式は、2月9日(木)にホテルオークラ新潟で行われます。※対象期間:平成28年1月~12月 対象者:高校生以下の競技者、市内在住もしくは在学

## 陸上

稻毛 碧(新潟柳都中3年)

平成28年度全国中学校体育大会 第43回全日本中学校陸上競技選手権大会  
男子200m 第1位  
男子100m 第2位  
第47回ジュニアオリンピック 陸上競技大会  
A男子200m 第1位

吉井 里々子(鳥屋野中3年)

平成28年度全国中学校体育大会 第43回全日本中学校陸上競技選手権大会  
女子100mH 第2位

五十嵐 晴人(新津第五中3年)

平成28年度全国中学校体育大会 第43回全日本中学校陸上競技選手権大会  
男子走高跳 第2位

小林 茜(新潟商業高3年)

第71回国民体育大会 陸上競技  
少年女子A 400mH 第3位

## 水泳

加藤 吉浩(新津第三小5年) ダッシュ新津

第39回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会  
10歳以下 男子50m自由形 第1位

佐藤 愛(山潟中1年) アクシーかめだ

第39回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会  
11~12才 女子200m個人メドレー 第2位

石崎 慶祐(長岡大手高1年) ダッシュ新津

第71回国民体育大会 水泳競技  
少年男子B 50m自由形 第1位  
少年男子B 100m自由形 第1位  
第39回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会  
15~16歳 男子100m自由形 第1位  
CS 男子400mフリーリレー 第2位

渡辺 武史(中越高3年) ダッシュ新津

中川 潤(中越高3年) ダッシュ新津

第39回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会  
CS 男子400mフリーリレー 第2位

## レスリング

真島 好花(亀田東小1年) 卷っすレスリングクラブ

第33回全国少年少女レスリング選手権大会  
小学生の部 1年生30kg級 第3位

中村 旭(女池小6年) 新潟栄和レスリングクラブ

第20回全国少年少女選抜レスリング選手権大会  
小学生女子の部 5年生+40kg級 第3位

## ボクシング

近藤 陸(開志学園高2年)

第27回全国高等学校ボクシング選抜大会  
男子ミドル級 第3位

佐々木 光大(新潟向陽高3年)

第71回国民体育大会 ボクシング競技  
少年男子 ライトウェルターハー級 第2位

滝澤 栄吉(開志学園高1年)

第71回国民体育大会 ボクシング競技  
少年男子 ピン級 第3位

## 卓球

相馬 夢乃(葛塚中2年) 新発田ジュニア

平成28年度全国中学校体育大会 第47回全日本中学校卓球大会  
女子シングルス 第3位  
JOCジュニアオリンピックカップ2016  
平成28年度全日本卓球選手権大会(カデットの部)  
14歳以下女子シングルス 第2位

## バドミントン

プログレス

相澤 大智(東山の下小6年)

矢田 楓雅(東山の下小6年)

第25回全国小学生バドミントン選手権大会  
男子ダブルス6年生以下 第1位  
都道府県対抗団体戦男子 第3位

白根エンゼルス

齊藤 舞音(白根小5年)

笹川 凜(白根小5年)

第25回全国小学生バドミントン選手権大会  
女子ダブルス5年生以下 第3位

## ソフトテニス

県代表

高橋 拓己(鎧郷小6年)

関根 颯斗(茨曽根小6年)

第33回全日本小学生ソフトテニス選手権大会

男子団体戦 第2位

## サッカー

山田 洸太(北越高3年)

第23回パツラフ・イエジェク国際ユーストーナメント 第3位(U-17日本代表)

アルビレックス新潟U-18

長谷川 巧(開志学園高3年)

宮崎 幾笑(アルビレックス新潟)

第28回バレンティン・グラナトキン国際フットボルトーナメント 第9位  
(U-18日本代表)

県代表

千野 七海(新潟商業高3年)

白井 ひめ乃(新潟東高1年)

第71回国民体育大会 サッカー競技  
女子 第1位

アルビレックス新潟レディースU-18

唐橋 万結(新潟中央高2年)

FIFA U-17女子ワールドカップ ヨルダン2016 第2位(U-17日本代表)  
CFA International Women's Youth Football Tournament 2016 Weifang 第2位  
(U-17日本代表)

## バスケットボール

松浜ワイルドキャッツ

末武 冬野、相田 真拓、島田 聖吏、中原 大智、  
高橋 奏大、陸 陸斗、竹本 健央、鶴間 大翔(松浜小6年)  
田中 嘉幸、齋喜 陽斗(松浜小5)  
島田 聖夢、坂井 陽樹、中原 拓珠(松浜小4)  
前川 拓夢、高野 暖人(松浜小3)

東日本大震災復興支援 JX-ENEOS 第47回全国ミニバスケットボール大会  
男子 第1位

県選抜

真田 龍斗、田村 歩夢、齋藤 友紀、渡邊 渉太(石山中2年)  
吉川 瑠、青山 海斗、丸山 宇宙(鳥屋野中2年)

東日本大震災復興支援 JX-ENEOS  
第29回都道府県対抗ジュニアバスケットボール大会2016 第1位

## ゴルフ

高橋 彩華(開志国際高3年)

第58回日本アマチュアゴルフ選手権 第1位  
第71回国民体育大会 ゴルフ競技  
女子団体 第2位

## テコンドー

佐藤 拓心(新通小5年) 勇道館

第34回全日本テコンドー選手権大会  
小学生男子5年生の部 第2位

館野 力樹(白根小6年) 武志道場

第34回全日本テコンドー選手権大会  
小学生男子6年生の部 第3位

栗山 日向(白根第一中1年) 武志道場

第34回全日本テコンドー選手権大会  
中学生男子1年生の部 第2位

## 武術太極拳

宮尾 宙尚(高志中等2年) 新潟県武術太極拳連盟

第6回世界ジュニア武術選手権大会  
男子42式太極拳B 第4位  
男子42式太極剣B 第4位

第24回JOCジュニアオリンピックカップ  
武術太極拳大会  
総合太極拳B男子 第1位  
42式太極剣B男子 第1位

## クライミング

栗田 湖有(白根第一中2年) 新潟ジュニアクライミングクラブ

IFSC世界ユース選手権 広州2016  
ユースB リード 第7位

第19回JOCジュニアオリンピックカップ大会  
スポーツクライミング競技  
ユースB リード 第2位

## バトンツーリング

岩渕 圭登(開志国際高1年) KAORIバトンスクール

第33回世界バトンツーリング選手権大会  
フリースタイル個人男子ジュニア 第1位

第41回全日本バトンツーリング選手権大会  
ソロツール 男子ジュニア 第1位  
コンバルソリー 男子ジュニア 第1位  
フリースタイル 男子ジュニア 第1位

## 陸上 400mT 障害日本記録保持者 3大会連続五輪出場

### 久保倉里美選手が現役を引退

#### 新潟でオリンピック選手を育てたい

陸上女子 400mT 障害の日本記録保持者で、オリンピック 3 大会連続出場した新潟アルビレックス RC の久保倉里美選手（34）が、今季限りで現役を引退することになりました。今後も新潟でクラブのコーチとして後進の指導に当たり五輪選手を育てたいと意欲を示しています。

久保倉選手は北海道旭川市の出身。福島大から 2005 年に新潟アルビレックス RC 発足と同時に入団し、新潟を拠点に 12 年間に渡り世界を舞台に活躍してきました。11 年には 55 秒 34 の日本記録を樹立、日本選手権では 07 年に初優勝以来、女子トラック種目では最長の 8 連覇を達成するなど 9 度の優勝。世界選手権は 4 大会に出場、オリ

ンピックには 3 大会連続で出場し北京、ロンドンでは準決勝に進出、リオデジャネイロでは予選で敗退していました。

本格的な陸上競技の挑戦は高校時代からで、福島大学で基礎から学び直して才能を伸ばし、400mT 障害で日本勢初めての五輪出場を果たしました。

た。同種目は非常に戦略性の高いレースで、そこに魅力を感じ練習に工夫を重ね、アキレス腱部分断裂などのけ

がとも戦いながら、速さを追求してきました。

新潟市体育協会では平成 23（2011）年度の第 2 回スポーツグランプリで表彰しています。この時にメッセージを寄せ「今できることを一生懸命に競技に取り組んでいます。新潟から世界に羽ばたける選手になれるよう挑戦を続けます。夢は諦めなければ必ずかなうもの信じて頑張りましょう」と、若い選手や子供たちにエールを送っています。



新潟アルビレックスランニングクラブ提供

## サッカー女子 U-17 W カップ

### アルビ L の唐橋選手が出場

アルビレックス新潟レディース U-18 の唐橋万結選手（新潟中央高 2 年）が、U-17 女子ワールドカップ（W 杯）日本代表（リトルなでしこ）のメンバーに選ばれ、10 月にヨルダンで開催された W 杯に参戦してきました。

大会には 16 チームが参加し 4 組に分かれて 1 次リーグを行い、各組上位 2 チームが決勝トーナメントに進出します。唐橋選手は 1 次リーグのアメリカ戦、準々決勝のイングランド戦の 2 試合に途中出場、ともに中盤での

短い出番でしたが貴重な体験をし勝利に貢献しました。

日本は前回 2014 年にコスタリカで行われた大会で、スペインを 2-0 で下して優勝し連覇がかかっていました。しかし、決勝は PK 戦の末に宿敵の北朝鮮に敗れて銀メダルに終わり連覇を逃しました。



新潟日報社提供

# トピックス



新潟日報社提供

## バレー全国高校選抜に 巻口選手（巻高2年）

### タイへの強化遠征に参加

バレーボール女子の全国選抜チームに巻口明日香選手（巻高2年）が選ばれ、8月にタイのバンコクに遠征して地元の高校選抜や大学チームと強化試合などを行ってきました。12人の選抜メンバーの中で2年生は巻口さんだけで、全日本代表として東京五輪に出場する夢を膨らませています。

小学4年からバレーボールを始め、鳥

屋野中3年の時に県の選抜チームに選ばれました。巻高では主将としてチームをまとめています。180cm近い長身を生かした高い打点からの、角度のある強力なスパイクが魅力。ジャンプ力があり打球も速く、身体能力も高く、今後が楽しみな選手として期待され、全国高校選抜の合宿メンバーにも選ばれています。

選抜チームは、東京五輪に向けた強化事業の一環として全国高等学校体育連盟（全国高体連）が6月に12人を選び、本県からは巻口さんと野上菜月選手（長岡商3年）が海外強化遠征に参加してきました。



新潟・ハバロフスク交流事業の一環として、8月9～15日にハバロフスク市の新体操チーム（Olympia）の7選手と3人のコーチが新潟市を訪れました。

合同練習や実技講習会、親善試合などの交流によって新体操の競技力向上に繋がり、またホームステイやプレゼント交換などイベントでの交流も行われ、友好関係を深めることができました。

また、バスケットボール競技では、ウラジオストク姉妹都市提携25周年記念事業の一環として、10月20～25日にウラジオストク市のクラブチーム「スバルタク・ブリモーリエ」育成選手の中学生チームが新潟市を訪れ、親善試合を行いました。

新潟市からは、市内上位チームである石山中、鳥屋野中、黒埼中が試合に臨み、身長2mを超える相手に苦戦を強いられましたが、多彩なパスワークでボールを繋いだ新潟市チームが3連勝しました。また、12月8～13日には極東連邦大学男子バスケットボール選抜チームも訪れて、地元大学生らと交流を深めました。

## ロシアとの国際交流広がる

## 国体ボクシング少年男子 佐々木選手が準優勝 滝澤選手は3位入賞

「希望郷いわて国体」のボクシング（10月・奥州市）の少年男子ライトウェルター級で、佐々木光大選手（新潟向陽高3年）は初出場ながら決勝まで勝ち進み、インターハイの王者・荒本一成選手（奈良）を得意の左ストレートなどで果敢に攻めましたが、ひるまず反撃する格上の相手から最後は強烈な連打を浴びて3回途中で終了ゴング、納得させられた準優勝となりました。

高校に入って柔道からボクシングに転向しましたが、鍛えられていた体と、のみ込みの早さで上達し、3月の全国高校選抜で全国デビュー。初戦では敗れましたが、8月のインターハイでは8強入りの成長。そして初めての国体の前には県外遠征を重ね、いろいろなタイプの多くの選手と対戦して備えていました。

また、少年男子ピン級の滝澤栄吉選手（開志学園高1年）も、初出場ながらインターハイ8強の実力を発揮して、3位入賞を果たしました。

準決勝では、インターハイで敗れている田中湧也選手（福岡）と対戦。再敗はすまいと休まず攻撃しましたが、接近戦に持ち込まれて攻めきれないまま0-3の判定となって敗れ、念願の決勝進出はなりませんでした。

滝澤選手は右利きだけれど、構えはサウスポーという独自のスタイルで、仁多見史隆監督に全国トップクラスだと認められているスピードとコンビネーションの持ち主で、今後の活躍が期待されています。



新潟日報社提供

## 全中卓球

### 相馬選手（葛塚）成長の3位



新潟日報社提供

全国中学校体育大会（全中・8月・高岡）の卓球女子シングルスで、相馬夢乃選手（葛塚中2年）が巧みな攻撃プレー

で準決勝まで勝ち進み、優勝した同じ2年の長崎美柚選手（東京・稻村）に敗れはしましたが、粘り強い戦いぶりで3位となりました。前回大会では2回戦で敗退していた相馬選手ですが、わずか1年で堂々の成長ぶりを見せました。

多彩なサーブ、集中力を切らさないラリー、さらにカットでチャンスをつくりスマッシュを決める攻撃など、練習の成果を発揮して勝ち進んできました。準決勝では相手の強烈なドライブに苦しみ、後半に2セットを連取され1-3で敗れ悔しい思いをしました。次回大会までにさらに攻撃力を磨いて、頂点に立つ決意を強くしています。

## 全中柔道

### 白根一（女子団体）県勢初の8強

リージョンプラザ上越で開催（8月）された柔道の女子団体は、白根一が健闘し、決勝トーナメントの準々決勝で、優勝した広陵チーム（奈良）に敗れはしましたが、県勢の女子団体で初めてとなる8強（5位）となりました。

県内開催となった大会での決勝を目指し、早朝6時からの朝練習を始め、車のタイヤを転がし、走り込みもけたり、体幹や持久力を鍛えたりして備えてきました。厳しい練習と一緒にやってきた選手たちの気持ちが一丸となった上位入賞でした。

### 古谷真弥（新潟第一）躍進の5位

初めての全中の舞台で積極的に攻めて大活躍。古谷選手は、初戦から体落として一本勝ちして波に乗り、得意の背負い投げを仕掛けでは相手を崩し、優勢勝ちを重ねました。

準々決勝で古賀若菜（福岡・田主丸）に臆せずに挑みましたが、格上に優勢負けして涙を飲みました。

柔道を始めたのは3歳のころから。肉体強化に取り組み、腕力に加えて走り込みで鍛えた脚力が組手を強くして、北信越の20歳以下の大会で準優勝するなど注目されていました。



新潟日報社提供



新潟日報社提供

## 中学生空手道選手権大会



新潟日報社提供

空手の第24回全国中学生選手権大会が8月、本県で初めて新潟市の朱鷺メッセで開催され、全国から約1300人の選手が形と組手の男女団体と個人戦で技を競い合いました。県勢では予選で4位までの選手、チームが出場しました。

女子の団体組手で新津五中の三人組が5位入賞を果たしました。地元開催ということで優勝を目指し、道場での稽古以外でも自主練習を重ね、攻めるタイミングなどを磨いてきました。声を掛け合って全員が全力を出し切って8強まで勝ち進んでの結果に、悔いは残りませんでした。

## 全国中学生空手選手権、新潟で初開催

### 新津五中が5位入賞（女子団体組手）

## バドミントン 全国小学生選手権大会

### 相澤・矢田ペアが優勝 女子ペアも3位に

バドミントンの第25回全国小学生選手権大会（12月・滋賀県立体育館など）男子ダブルス6年生以下の部で、相澤大智、矢田楓雅組（東山の下小6年・プログレス）が、決勝で石川のペアに1セットも与えない完勝で優勝を飾りました。

両選手は準々決勝では北北海道のペアに2-0、準決勝でも東京に2-0で勝

ち進み、決勝でも見事な連係プレーで圧勝しました。昨年の2位に続いての快挙でした。

また女子ダブルス5年生以下の部でも、齊藤舞音、篠川凜組（白根小5年・白根エンゼルス）が3位と健闘しました。準々決勝で南北海道のペアに勝ち、準決勝では岡山のペアにストレート負けで涙を飲みましたが、次回での雪辱を期しています。



# 「世界へ羽ばたけ！ジュニアアスリートたち！」 (公財) 新潟市体育協会賛助会員

## 賛助会員の趣旨

公益財団法人新潟市体育協会では、本会の目的・事業に賛同していただける法人、団体ならびに個人の方へ賛助会員としてご支援、ご協力をいただいております。

なお、ご支援いただいた賛助会費は、ジュニア選手強化や指導者育成などの公益目的事業に活用させていただいております。



## 新潟市体育協会への ご支援ありがとうございます

### ～賛助会員御芳名～

法人・団体会員  
(38団体)

個人会員  
(19名)

- ◆一般社団法人新潟アルビレックス女子バスケットボールクラブ
- ◆株式会社アルビレックス新潟
- ◆株式会社池田看板
- ◆株式会社nBb-1 on 1
- ◆株式会社三英
- ◆株式会社CSコーポレーション
- ◆株式会社新潟カントリー倶楽部
- ◆株式会社新潟パティネレジャー
- ◆株式会社新潟プロバスケットボール
- ◆株式会社白新商会
- ◆株式会社フジ・クリエイティブセンター
- ◆株式会社ホテルオークラ新潟
- ◆株式会社ヨシカワ
- ◆共立印刷株式会社
- ◆グリーン産業株式会社
- ◆ケータリングフード株式会社
- ◆公益財団法人新潟市開発公社
- ◆サイトウスポーツ株式会社
- ◆スポーツショップ株式会社ファイブ

- ◆セノ一株式会社関東信越支店
- ◆ナミックス株式会社
- ◆新潟市ソフトボール協会
- ◆新潟市武術太極拳連合会
- ◆新潟市野球連盟
- ◆新潟小学校区スポーツ振興会
- ◆新潟綜合警備保障株式会社
- ◆新潟中央ヤクルト販売株式会社
- ◆新津カントリークラブ
- ◆長谷川体育施設株式会社北信越支店
- ◆萬国徽章
- ◆ボッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社
- ◆有限会社イトウスポーツ
- ◆有限会社S・E・P INTERNATIONALぽんしゅ館魚沼釜藏
- ◆有限会社さくら電気
- ◆有限会社白川屋
- ◆有限会社まるたか
- ◆ラマダホテル新潟
- ◆95.S.C会

- ◆今井英雄 ◆荻荳 誠 ◆片桐輝久 ◆小池栄子 ◆佐藤羊治 ◆下川信也 ◆白川敏男
- ◆鈴木幸治 ◆友正 慧 ◆中島正雄 ◆中原八一 ◆中村厚郎 ◆中屋昭夫 ◆鳴海丈支
- ◆羽下 仁 ◆速水 裕 ◆平野貢司 ◆目黒 勤 ◆渡辺 茂

(敬称略・五十音順)

## 事務局から

### ＜地元からオリンピック選手を＞

新潟市から12年ぶりの関取、大相撲の小柳関が大活躍しています。昨年のリオ五輪では、日本選手の活躍で感動と夢・希望をいただきました。10月の「いわて国体」で本県は総合成績17位となって練習の成果を発揮しました。

今年2月には、アジア冬季五輪札幌大会。来年はピョンチャン冬季五輪。2019年には日本でW杯ラグビー。そして3年後2020年には、いよいよ東京オリンピック・パラリンピック。大舞台での活躍を目指し猛練習に励んでいる多くの地元選手がいます。ぜひ本市から日の丸を付けて活躍する選手が育ってほしいものです。

平成25年に設立した「新潟市文化・スポーツコミッ

ション」は、本市の文化・スポーツ資源や特徴ある観光資源を活用してイベントなどを誘致し、文化・スポーツのみならず地域経済の活性化を図っています。これまでスケートショートトラックや野球の侍女子ジャパンの合宿、日米大学野球大会などを手掛けてきました。ピョンチャン冬季五輪に向けては、アサヒアレックスアイスアリーナを活用して国内外のトップアスリートが合宿に訪れ、ここから地元のオリンピック選手も育ってほしいものです。

### ＜財団法人設立50周年を節目に＞

市体協では一人でも多くのオリンピック選手を地元から出そうとジュニア強化に取り組んでいます。一昨年に10年後を見据えた「将来構想」を策定。平成28年度から新たな強化策「にいがたスーパージュニア育成・医科学サポート事業」がスタートし、早速着実な成果が

出ています。また、財団法人設立50周年を迎えることから基調講演などを実施し、多くのスポーツ関係者・市民とともに節目を祝える事業を開催したいと考えています。

### ＜栄光の記録は市体協のホームページで＞

市体協のホームページで「栄光の記録」をご覧ください。市民大会やスポーツ情報・記録なども更新しています。

また、事務連絡などは下記メールアドレスまでお願いいたします。

URL <http://www.niigatashi-taikyo.com>

メール info@niigatashi-taikyo.com

(掲載写真の一部は日本相撲協会、新潟日報社、共同通信社などにご協力いただきました)

# 平成28年度(第49回)新潟市スポーツ功労者

(五十音順/敬称略)

**岩城 弘 (84)** 新潟市ターゲット・バードゴルフ協会会長



新潟市ターゲット・バードゴルフ協会の会長として、発足当初から協会の基礎づくりと運営に携わり、長年にわたって協会の発展に寄与してきました。

また、市民総合体育祭の企画・運営活動に力を注ぐ一方、市民への参加を広く呼びかけるなど、ターゲット・バードゴルフの普及・拡大に努めてきました。

**丑田 道夫 (71)** 新潟市陸上競技協会副会長



新潟市陸上競技協会の理事長、副会長を歴任し、協会の企画および運営に携わり、長年にわたって協会の発展に寄与してきました。

特に、新潟シティマラソンにおいては、萬代橋を走る陸上競技場発着の新コースを実現するなど競技運営に尽力しました。また、県主催の環日本海駅伝で新潟チームの監督を務めるなど、選手強化・育成に努めてきました。

**佐藤 文夫 (76)** 元スポーツ推進委員連盟理事



昭和54年に体育指導委員に就任以来、地域スポーツの振興に尽力し、スポーツ振興会や学校開放の運営において重要な役割を担ってきました。

またテニス、ラジオ体操の普及にも尽力しています。

**進藤 アサ子 (72)** 新潟市東区体育協会理事



区政施行後に発足した新潟市東区体育協会の理事として、設立準備の段階から主要メンバーとして協会の基礎づくりと運営に携わり、協会の発展に寄与してきました。

また、体育指導委員（現 スポーツ推進委員）に就任以来、地域スポーツの企画・運営やスポーツ振興会において中心的役割を担い、東区全体のスポーツ振興に貢献しています。

**鈴木 稔 (70)** 新潟市柔道連盟理事



新潟市柔道連盟の理事として会計を担当し、円滑な活動ができるよう運営に携わり、長年にわたって連盟の発展に寄与してきました。

また、新潟市北部柔道クラブ後援会会長・理事として、青少年の健全育成に力を注ぐ一方、地域社会との交流を深めるなど、柔道の普及・拡大に努めてきました。

**前田 加南子 (73)** 新潟支部バドミントン協会理事  
新潟シニアバドミントン連盟理事長



新潟支部バドミントン協会の理事として協会の企画・運営に携わり、長年にわたって協会の発展に寄与してきました。

また、新潟シニアバドミントン連盟の理事長として、意欲的にシニアクラブの指導を手掛けるとともに、生涯スポーツとしてバドミントンの普及・拡大に努めてきました。

**渢谷 茂彦 (71)** 新潟市バスケットボール協会副会長  
新潟市体育協会監事



新潟市バスケットボール協会の事務局、副会長および県協会の常任理事、副会長を歴任し、長年にわたって協会の企画や運営に携わり、協会の普及・発展に寄与してきました。

平成26年度には、広域市町村合併により懸案であった市協会の組織の一本化にも尽力し、組織基盤の整備・充実を図ってきました。

**山田 實 (82)** 新潟市ゲートボール協会顧問



豊栄ゲートボール協議会、新潟市合併後は北区ゲートボール協議会会長、NPO法人新潟市ゲートボール協会理事、副会長、顧問の他、新潟県ゲートボール連盟理事を歴任し、長年にわたって協会の発展に寄与してきました。

また、積極的に教室などを開催し、初心者の育成に意欲的に取組むとともに、協会員の技術力向上に尽力してきました。

## 平成28年度 新潟県体育協会スポーツ功労者賞 (敬称略)

## 平成28年度 新潟県体育協会スポーツ指導者賞 (敬称略)

**五十嵐 治 (70)** 羽下 仁 (70) 阿部 信一 (69)



公益財団法人  
新潟市体育協会理事  
新潟市サッカー協会会长  
前 社団法人新潟県  
サッカー協会理事

公益財団法人  
新潟市体育協会理事  
新潟県ラグビーフットボール協会理事  
新潟市ラグビーフットボール協会会长  
前 財団法人  
新潟県体育協会理事

公益財団法人  
新潟市体育協会評議員  
新潟県山岳協会会长  
新潟市山岳連盟会長  
前 社団法人  
日本山岳協会評議員

**松木 保 (66)**



公益財団法人新潟市体育協会理事  
一般財団法人新潟県水泳連盟理事  
一般財団法人新潟県水泳連盟指導者委員会委員  
一般財団法人新潟県スイミングクラブ委員会委員長  
新潟水泳協会副会長

## 新潟市体育協会永年賛助会員 (敬称略)

・新津カントリークラブ ・中島 正雄

# 第7回「スポーツグランプリ」 2人を表彰

新潟市体育協会は1月10日の理事会で、第7回（平成28年度）スポーツグランプリ表彰の受賞者に、陸上競技の稻毛碧選手（新潟柳都中3年）と、競泳の石崎慶祐選手（新津第一中出・長岡大手高1年）の2人を全会一致で正式決定しました。スポーツグランプリは、アマチュアスポーツ界で顕著な活躍をして話題を提供した市内の選手または団体を毎年度表彰しています。また特別賞は、世界バトントワーリング選手権大会で優勝した岩渕圭登さん（開志国際高1年）に贈られました。

## 競泳 100、50m自由形

石崎 慶祐さん (新津第一中出・長岡大手高1年)



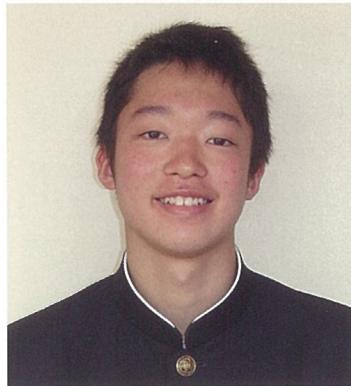
希望郷いわて国体（9月・岩手）で、石崎選手は少年男子B 100mと50mの自由形で会心の泳ぎを見せて2冠に輝きました。

まずは100mの決勝。51秒21のタイムを記録し、2位以下に1秒近い大差の圧勝でした。

翌日の50mでは予選6位となって、決勝では不利なコース取りとなったものの、好ス

## 陸上 200、100m

稻毛 碧さん (新潟柳都中3年)



北信越ブロックで開催された全国中学校体育大会（全中・8月・長野）陸上男子200mで21秒89の好タイムで優勝、同種目で県勢24年ぶりの快挙を成し遂げました。

稻毛選手は、予選を全体の1位で、準決勝は2位タイのタイムで通過、決勝では伸びのある自信あふれる走りで8人中唯一21秒台での完勝でした。

## 会心の泳ぎで国体2冠

### 成長を実感、大舞台で活躍

タートを切ってそのままトップでゴール。自己ベストを0秒24更新する23秒61の県高校記録で優勝し、見事な2冠を達成しました。

高校総体（8月・広島）の100m予選は、自己記録を0秒05上回る51秒31の県高校新で決勝へ。しかし決勝では緊張とプレッシャーで硬くなってしまった結果、この悔しさを胸にして臨んだ国体でした。直前の全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季大会（8月・東京）では、自身の県高校記録を破る50秒93の大会新をマークし、絶好調での活躍が期待されました。

前年の全中、JOC、国体では会心の泳ぎを発揮できず、その悔しさをバネに、練習の質を高めてきました。176cm、60kgという細身の体形を生かし効率よく泳ぐ技術。その成果が実を結び、泳ぎが大きくなりスピードが増したと成長を実感しながら、さらなる大舞台での活躍を期しています。

## 県勢24年ぶりの快走V

### 後半に加速、勝負強さ發揮

抜群の加速力でレース後半に勝負強さを發揮しています。前年の大会以来続けている体幹トレーニングなどで体調の不安を一掃して、安定感が増したフォームと力強いストライドでスピードに乗った快走で、県中学記録にあと0秒05に迫る成績でした。

翌日の100mでも決勝に進みました。1年生時代からのライバルという溝口累生選手（兵庫・野々池）をマークして追走、僅か0秒04差の10秒98のタイムで準優勝。二日連続して表彰台に立ちました。

続くジュニアオリンピック（10月・横浜）でも、男子A（14歳）200mで21秒94で優勝しました。

栄小6年ころから下町スポーツクラブで陸上競技に親しむようになり、将来が楽しみな選手に成長してきました。中学生になって身長も180cmと伸び恵まれた体形に。部活のほかに、新潟アルビレックスRCの教室にも通い練習に励んでいます。

## 特別賞

### バトントワーリング

岩渕 圭登さん (開志国際高1年)

## 男子ジュニア個人で世界一

バトントワーリングは金属製のバトンを、身体全体を使って操り技術や表現力などを競う競技。岩渕さんは、昨年3月の全国大会（大阪）で優勝し日本代表となり、スウェーデンで8月に17カ国が参加して開かれた「世界バトントワーリング選手権大会」男子ジュニア部門個人代表として出場しました。

隔年で開かれる世界大会に2回連続出

場。規定のコンパルソリーとフリースタイルともトップの得点となるほど完璧で華麗な演技を披露して見事世界一となりました。

ジュニア部門には11人が演技を競い、岩渕さんは全国大会の時より難易度を上げた大技にも挑戦し、世界の舞台で金メダルをつかみました。

東中野山小学1年からバトン教室を開く母親の指導で競技を始め、5年生から世界を目指して本格的に練習に打ち込んできました。柔軟性を鍛え多彩な技をさらに磨き、外国人選手に劣らない表現力を高めて、連覇を目指しています。

